

～ 薬友会短信 ～

令和6（2024）年1月

拝啓

卒業生の皆様には、御盛祥のこととお喜び申し上げます。さて、今年度の薬学部に関する情報、ならびに、薬友会からのお知らせを皆様に御案内申し上げます。

【薬学部役員】

令和5（2023）年度の薬学部役員は下記の通りです。

薬学部長 井上 敦子 教授
薬学部長補佐 田村 豊 教授
学科長 佐藤 英治 教授、小嶋 英二郎 教授
薬学研究科長 今 重之 教授

【薬学部就職対策委員会委員】

高根 浩 教授
本屋敷 敏雄 准教授

【人事の異動について】

◇退職： 講師 白川 真 （製剤化学研究室）R5 8月末付
◇新任： 助教 番匠谷 研吾 （薬物治療学研究室）

【令和5（2023）年度 薬友会役員】

会長 五郎丸 剛
副会長 前原 昭次、本屋敷 敏雄
理事 中村 徹也、井上 真
監事 町支 臣成、道原 明宏

【薬学共用試験の結果について】

福山大学薬学部では、令和4年度薬学共用試験は受験者数118名中、OSCEでは118名、CBTでは97名が合格し、共用試験としては97名の合格となりました。OSCEの実施に際しましては、評価者として御協力いただきました同窓生の皆さまには、感謝申し上げます。

【第 108 回薬剤師国家試験の結果について】

	受験者数	合格者数	合格率
新卒	123 名	82 名	66.67%
総数	213 名	114 名	53.52%

総数には、4 年制教育課程の卒業生が含まれます。

【白衣授与式】

6 年制薬学教育課程では、5 年生は病院と保険調剤薬局で合計 5 ヶ月間の臨床実務実習を行います。福山大学薬学部では、この臨床実務実習に赴く学生たちが、“一般人”から“医療人”となることを誓う象徴的な行事として、「白衣授与式」を令和 6（2024）年 2 月 6 日（火）に行う予定です。

【在学生の兄弟及び同窓生の子弟に対する入学金の減免制度】

福山大学では、同窓生の子供に対する入学金の減免制度を導入しています。薬学部の場合、通常 40 万円の入学金が 20 万円に減免されます。また、兄弟・姉妹が在学している場合にも同様の入学金減免が受けられます。是非、この制度を利用して、皆様のお子様を福山大学への進学をご検討ください。入学金減免制度の詳細につきましては、必ず願書提出前に手続きを入試広報室にご確認ください。

【第 46 回 福山大学薬学部卒業後教育研修会】

令和 5（2023）年度卒業後教育研修会を令和 6（2024）2 月 10 日（土）に行う予定です。詳細は、次ページをご覧ください。ご不明な点は、大西 正俊 准教授 (ohnishi@fukuyama-u.ac.jp) までお問い合わせください。



第46回 福山大学薬学部卒後教育研修会



変化の時代の中で、いま薬剤師が取り組むべきこととは (2)

日時：令和6年2月10日(土) 14:30～(受付開始)

場所：福山大学未来創造館3階 110301 教室

プログラム

14:55～15:00 開会の辞 福山大学薬学部卒後教育委員長・准教授 大西 正俊

15:00～17:00 変化の時代の中で、

いま薬剤師が取り組むべきこととは (2)

15:00～16:00 座長 1 福山大学薬学部・准教授 大西 正俊

変革時代における薬局薬剤師の在り方を考える

そうごう薬局 御門店 杉谷 貢優 先生

16:00～17:00 座長 2 福山大学薬学部・講師 中村 徹也

がん治療における薬剤師の関わりと今後の展望

福山市民病院 薬剤科 岩村 高弘 先生

17:00～ 閉会の辞

参加申込み：会場参加のみでの開催です。

事前参加予約は、右のQRコードあるいはURLからお申込みください。

福山大学薬学部卒後教育委員会 中村 徹也

TEL: 084-936-2111(内 5136)

E-mail: t-nakamura@fukuyama-u.ac.jp

URL:

<https://forms.office.com/r/ENpgjKjGW>



問合せ先：福山大学薬学部卒後教育委員会 委員長 大西 正俊

TEL: 084-936-2111(内 5077)

E-mail: ohnishi@fukuyama-u.ac.jp

日本薬剤師研修センター集合研修 1単位(PECS登録済みの方に付与が可能です。付与を希望される方は研修会当日、ご自身のQRコードをお持ちください。)

日病薬病院薬学認定薬剤師制度 1単位(各領域0.5単位: I-1, V-2)

主催：福山大学薬学部

共催：(公社)広島県薬剤師会、広島県薬剤師研修協議会、

(一社)広島県病院薬剤師会、(公財)日本薬剤師研修センター

協賛：日本薬学会

一般 1,000円
福山大学卒業生 500円


【令和4（2022）年度 薬友会収支報告】

適用	収入	支出
前年度繰越支払金	1,394,122	
利息他戻入	8	
同窓会本部からの分担金	360,000	
収入の部合計	1,754,130	
薬友会短信等印刷費・郵送費		603,300
薬学部行事支援費（花鉢、新聞広告）		160,550
大学祭支援費		50,000
名簿システム使用料		171,573
雑費（消耗品等）		7,656
通信費（切手代、住所調査費返信費）		11,766
次年度繰越支払金		749,285
支出の部合計	1,754,130	

上記の通り、相違ありません。

監事

町支臣成 

道原 明宏 

【令和5（2023）年度薬友会活動計画および予算計画】

適用	金額
薬友会短信等印刷費・郵送費	400,000
雑費（消耗品等）	5,000
名簿システム使用料	171,573
大学祭支援費	50,000
予備費・薬学部行事支援費（印刷等）	10,000
合計	636,573

【卒業生の皆様へ】

入学者ならびに卒業生の減少に伴い、薬友会の財政は逼迫した状況にあります。1年に1度送らせていただいていた薬友会短信も、今年度よりホームページによる公開としました。ご了承ください。

所在の確認ができなくなった同窓生の数が増加しております。皆様方のご友人で、最近薬友会からの連絡が届いていない方がおられましたら、薬友会宛にご一報下さい。

【新任教員紹介】

薬学科 薬物治療学研究室 番匠谷 研吾 助教



私は広島大学附属中学・高等学校，長崎大学薬学部（4年制）を卒業後，大阪大学大学院薬学研究科修士課程を修了し，一般財団法人化学物質評価研究機構で働いていました．この間に，生物や物理，情報科学などの多岐にわたる学問に触れてきました．その後，薬剤師免許の取得を目指して福山大学薬学部に学士編入学しました．そして，恩師である田中哲郎教授，金尾義治名誉教授と出会い，薬剤師国家試験合格後に博士課程へ進学し，博士（薬学）を頂き，このたび着任いたしました．私は薬物治療の最適化を目指して，ドラッグデリバリーシステムを利用した難水溶性薬物の可溶化および標的臓器へのターゲティングに関する研究を主に行なっております．

薬剤師の大きな特徴の一つとして，物理，化学，生物，情報科学などの多岐にわたる学問を学び，それらに基づいた論理的思考力が必要となることが挙げられます．つまり，薬剤師はオールマイティなサイエンティストでなければならないと私は考えます．福山大学薬学部において，研究や講義等の様々なことを通して薬剤師として必要な多岐にわたる分野を学ぶ，オールマイティなサイエンティストになるための環境を提供できるよう尽力してまいります．卒業生等の皆様からのご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます．